

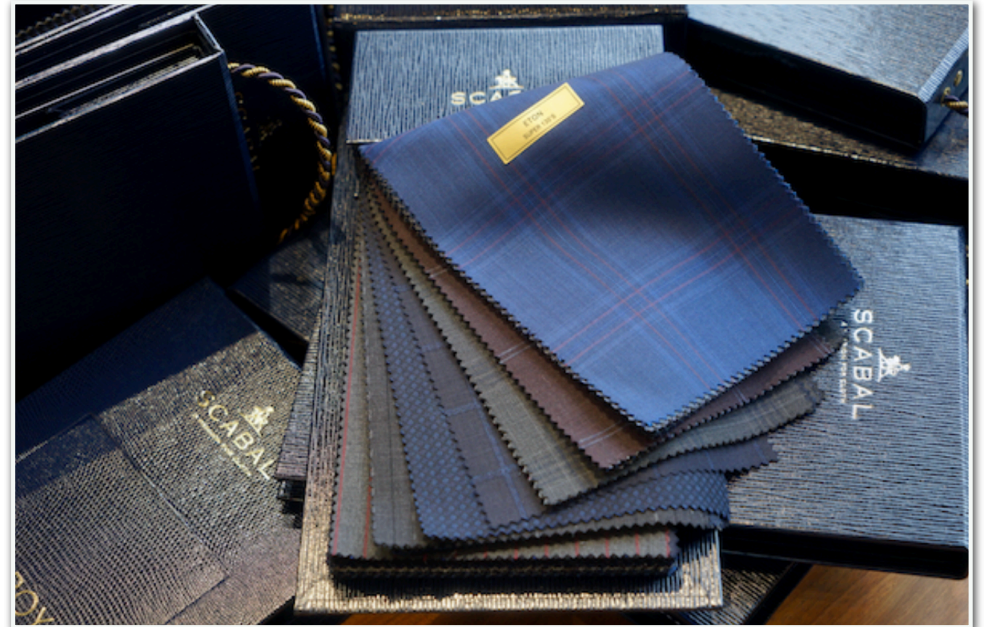
メンズパーソナルスタイリスト養成講座



第4講 スーツスタイルマスター（提案スキル編）

スーツはどこで手に入れる？

既製スーツ VS オーダースーツ



それぞれの違いは？

既製スーツについて



既製スーツの特徴、メリット & デメリット

既製品スーツ

店頭ですでに完成された状態で販売されているスーツ。
様々なブランドがスーツを展開している。

メリット

- ・ オーダーと比べ価格が安価。
- ・ 完成した状態で販売されているので着用イメージが容易。
- ・ 豊富なブランドの中から探すことができる。
- ・ すぐに着用できる。
- ・ オーダーと同価格の場合、クオリティがオーダーより高い。

デメリット

- ・ サイズ補正に限界がある。
- ・ ピッタリ合わない場合がある。
- ・ 好きな色、柄がない場合がある。
- ・ 好きなデザイン、ディテールがない場合がある。
- ・ 2パンツ、3ピースといったニーズに答えられない。

主要ショップ (セレクトショップ)



セレクトショップ「ビームス」のスーツ部門。BEAMS Fとストアブランド Brilla per il gustoが並立。価格は11万円くらい〜。



ビームスと並ぶ有力セレクトショップ。オリジナルとインポートを扱う。価格はオリジナルで7万円台〜。デザイン性が高く前衛的なアイテムも揃う。



ユナイテッドアローズのセカンドライン。本家アローズと比べて価格は抑えめ。スーツはオリジナルのみ。価格は4.5万円前後のものが多い。セットアップでの販売が多いのも特徴。



大手セレクトショップの中でもベーシック、落ち着いた印象のスーツが多い。オリジナル、インポート双方を扱う。価格はオリジナルで8万円台〜

主要ショップ (スーツ専門店)

**THE SUIT COMPANY**

UNIVERSAL
LANGUAGE

||| SUIT SELECT

ORIHICA


【既成スーツ】

スーツ部門で2プライスショップの先駆けとなったブランド。店舗数も多く、サイズ展開も豊富。スーツの価格は3～5万円台。

関東～近畿圏に展開するブランド。スーツからキレイめカジュアルまでを幅広く扱う。トレンドを取り入れることに長けておりコスパも高い。スーツは5～8万円台とスーツカンパニーに比べると少し高価格帯。

スーツカンパニーと並んで店舗数が多い大手2プライスショップ。価格帯は2～4万円台。高コスパ。袖口ボタンが本切羽仕上げになっているものが多い。

関東～中国・四国まで展開するスーツブランド。ストレッチ生地など機能性素材で有名。価格は3～4万円台が多い。

【既製スーツ】

～point～ **既製品 ≠ 完成品**

既製スーツであってもお直しできる箇所
はたくさんあります！



【袖丈】

基本は袖口から詰めるor出す。例外として肩から詰めることも。

【着丈】

ほぼ全てのジャケットで着丈の詰めが可能。1cm詰めるだけでも全体の印象が大きく変わります。

【身幅（ウエスト周り）】

既成スーツのジャケットの内側には身幅出しをできるように生地が余分にとられています。最大で3～4cm出せる場合もあります。

【ウエスト補正】

ウエスト幅は出すことを想定して余分に生地が織り込まれています。最大で3～4cm出せる場合もあります。

【ワタリ筒幅補正】

ワタリ～膝下にかけて幅を細めることは可能。膝下幅は出すことは難しい場合も。

【パンツ丈、仕上げ】

シングルorダブル仕上げを確認。ダブル幅：～160cm/3.5cm、160～170cm/4cm、170cm～/4.5cm。（好みによります。）

※ショップによっては不可能は補正もあります。

【既製スーツ】

～買ってはいけないスーツ例～



- ✗ 全体的に人工的、化繊っぽい光沢がある。
(ストレッチ、洗えるスーツ、吸湿速乾系のものに多い)
- ✗ 奇抜な色・柄、派手に見えるもの (ご要望によります)
- ✗ 柄ゆきがズレているもの。
- ▲ 最初から本切羽が入っているもの。

【既成スーツ】

～試着時にチェックすべき箇所～



【ジャケット】

- ・ ボタンを留めたときの身幅は適正か？
(手のひら一枚が入るゆとり)
- ・ 腕が上がるか？
(実際に「前にならえ」の姿勢を取ってもらい確認。)
- ・ ベントが左右に広がっていないか？
(広がっていると「蹴廻し」が足りていない証拠)

【スラックス】

- ・ ウエストがピタピタ、パツパツになっていないか？
(補正の許容範囲内か？)
- ・ 太もも、膝下のヒラメ筋が張っていないか？
(補正で出すことはあまり期待できません。サイズを上げるか他のスーツを探す場合が多いです。)
- ・ 座った状態でウエスト周り、太もも周りを確認。

オーダースーツについて



オーダースーツの特徴、メリット&デメリット

オーダースーツ

店頭には生地または生地見本（バンチブック）が置かれている。
生地を選び、顧客のニーズにあったスーツを作ることができる。

メリット

- ・自分にジャストサイズのスーツを作ることができる。
- ・ポケットや切羽の仕様などディテールを選ぶことができる。
- ・一度作ると二回目以降はオーダーが容易（同一店舗の場合）。
- ・スーツを「作る」醍醐味、楽しさを味わえる。

デメリット

- ・価格が高価になりがち。
- ・完成のイメージがつきにくい。
- ・完成まで時間がかかる。
- ・ショップのセレクトを誤ると古臭くなりがち。
- ・生地、デザインなどを多くの選択を強いられる。

オーダースーツの製作方法

「フルオーダー」

オーダー方法のなかでも最も高価で、究極の一着を作れるのがフルオーダー。オリジナルの型紙を起こす工程から始まるため、完全にオリジナルの一着が作れます。採寸、裁断、縫製など手作業でおこなう工程が多く、手がける職人には高い技術力が要求されます。手間もコストもかかるため、完成までに時間がかかり高価なことが弱点。

「パターンオーダー」

パターンオーダーは用意されたサンプルの中から自分の体に近いものを選び、ウエスト、胸囲、袖丈、着丈などの細かい部分を調整して仕上げるオーダー方法。あらかじめ決められた型紙を使い、工場で大量生産に乗せることができるので、価格が安く、仕上がりも早いのが特徴。オーダースーツの大半はこれ。

「イージーオーダー」

フルオーダーとパターンオーダーの間に当たるのが、イージーオーダー。あらかじめ決められた何種類かの型紙から、体型に合わせてCADシステムや手書きで型紙を修正しスーツを仕立てる。パターンオーダーではできない肩の微妙なシルエット調整なども可能なおうえ、比較的手ごろな価格で仕上げられるのがメリット。

主要オーダースーツ店

【オーダースーツ】

azabu tailor

北海道から福岡まで展開する大手オーダースーツ店。44,000円～オーダースーツを作ることができる。中心の価格帯は7～8万円程度。納期は1.5ヶ月程度。シャツのオーダーにも力を入れている。

FIVEONE



東京、大阪、神戸、福岡など全国8店舗を展開。日本人の体型を熟知して型紙を製作しているため、非常に高いフィットイングが実現する。数年前までビームスのスーツのOEMをしていたことでも有名。価格は10万円程度。


GOTAIRIKU
SINCE 1992

オンワード樫山が有するブランド。既成スーツ、カジュアル服をメインで展開するがオーダーも受け付けている。価格は6万円台～。既製品と同一価格でオーダーできる点が魅力。また、納期が最短一週間と非常に早い点も特徴。既製品ではサイズに難があるときにオススメ。



UNITED ARROWS

ビームスやユナイテッドアローズでもオーダースーツを受け付けている。同点オリジナルのスーツが体型に合う場合にオススメ。店頭になくサイズ、生地で作ることができる点が魅力。価格は10万円台半ば程度～。

【オーダースーツ】

～来店から購入までの流れ～



①来店。スタッフにスーツの使用目的、概ねの予算を伝える。
(この時点で概ねの納期を確認。お客様の希望に沿うかリサーチ。)

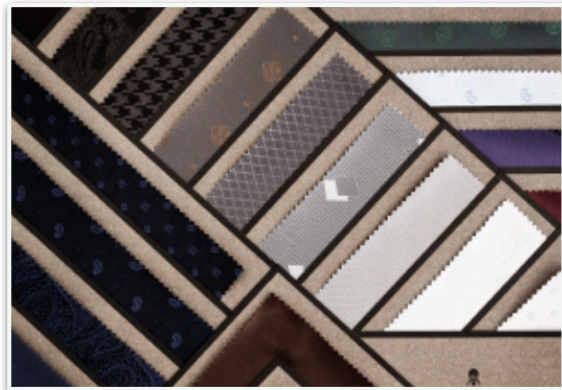
②バンチブックで生地候補を押さえる。



③スーツのデザインを決める。
(ベースは2つボタンのシングルスーツを推奨します。状況によってはダブルブレストもありです。ここから後の流れは基本的にスタッフの方の流れ通りに進めればOKです。)

④ボタン、裏生地等の選択

(ボタン色、裏生地はジャケットの色味から乖離しないこと。ジャケットと飛んだ色味のものを選ぶと、そこだけ悪目立ちします。ボタンは本水牛の角ボタンを。)



⑤会計。仕上がり日の確認。

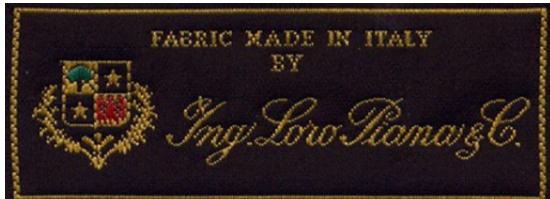
【オーダースーツ】

～主要生地ブランド～



エルメネジルド・ゼニア

創業は1910年、北イタリアでテキスタイルメーカーとしてスタート。デザインのポリシーは「最高の素材は優れたデザインを、最高のデザインは優れた素材を求める」。スーツ以外にも、ジャケットからスポーツウェアまで、それぞれの製品は世界で高い評価を得ている。



ロロ・ピアーナ

高級カシミアと高級ウールのトップメーカーです。歴史は古く、1924年にピエトロ・ロロ・ピアーナ (Pietro Loro Piana) がテキスタイル会社を創立したのが始まり。高級スーツやコートの子地として使用されることが多い。



ヴィタルバルベリス カノニコ

原毛をオーストラリアより直輸入し、最新鋭の紡績機械・織機を使い、糸の紡績から生地までを一貫して生産している。高品質でコストパフォーマンスに優れた商品は世界各国で高い評価を得ています。生地の特徴としては、軽くて、柔らかく、発色の良さがある。

【オーダースーツ】

～主要生地ブランド～



レダ

レダ社は、カルロ・レダ氏の手により1865年創業、イタリアを代表する名門服地メーカーです。約150年の歴史を誇るレダの製品は、原毛の調達から生地地完成まですべての工程を直接管理しています。その生地作りで蓄積された知識を最先端の技術力で、高品質なモノ・スーツ地を生み出し続けています。



ドラゴ

イタリア最大の毛織物産地ビエッラを代表する羊毛紡績・羊毛服地メーカーです。糸の紡績から生地の製造までを一貫して行うことを特色とし、そのコレクションはスーパー130's以上、スーパー210'sまでの高級グレードによって構成されている。



生地タグの例（カノニコ社）

※オーダー、既成スーツともに生地は必ず確認したいところです。super表記は数字が大きいほど生地が目が細かく光沢が出ます。ただし、その分扱いもデリケートになるので注意。日常使いであればスーパー110くらいあれば十分だと考えます。

【オーダースーツ】

～選択時に気をつけるべきところ～



NG例

※オーダースーツは選択する項目がたくさんです。そのため、判断を誤ると着心地は良くても現実的に着用しにくいスーツが出来上がる恐れがあります。

- ・大柄に気をつける。

バンチブックは小さな面積しか見えないため、つい目立つ柄を選びがち。スーツとして仕上がると悪目立ちしてしまうことも。

- ・色の明度に気をつける。

小さなものは暗い色に、大きなものは明るい色に見える傾向があります（面積効果）。

- ・オプション料金に気をつける。

スーツのベース価格を予算上限に持ってきてしまうと、オプションをしたときに予算を超えてしまうことがあります。同じ理由で消費税にも注意。

質疑応答タイム

